

～ 対策内容 ～

※本対策内容は静岡県が作成した「静岡県イベント開催における感染防止方針」を基に講じています

(1) 全般的な事項

チェック内容	具体的な対応
施設管理者等と協力・役割分担の上、適切な感染防止策を実施	事前に施設管理者へ感染防止策について協議済み
参加者が、感染防止対策が講じられているか確認することができるように、会場内の適切な場所へのチェックリストの掲示、ホームページでの公表を実施	ホームページにて予防対策の内容を公表する
各事項が遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認	大会中はスタッフが随時巡回を行う
可能な限り、事前予約制の導入や入場時における参加者等の住所・氏名等の確認 (個人情報取扱いは十分注意、参加者等に対して必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されることを事前に周知)	参加はHPからの事前申込みとする 参加者には当日氏名、連絡先を記入する参加票を提出してもらう 参加票は当日から1ヵ月まで保管し、その後は廃棄する
イベント終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針を決めておく	参加者発症の場合は、参加者・施設など大会に関わる全ての人に連絡をする 当日までに静岡県内にて緊急事態宣言がなされた場合は中止とする

(2) イベント参加者への依頼事項

○イベント前後

チェック内容	具体的な対応
参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせ ・体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状がある場合) ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した方との濃厚接触がある場合 ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合 ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合	参加者には左記の事項のチェックシートを記入する参加票を提出してもらう 参加にはワクチン接種、もしくはPCR検査による陰性結果の証明のどちらかを条件とする
接触確認アプリの利用	参加者に接触確認アプリ/COCOAの事前インストールをお願いする
感染拡大防止のために主催者から連絡先登録等の求めがある場合、積極的に応じること	参加者には当日氏名、連絡先を記入する参加票を提出してもらう
イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、保健所が実施する行動履歴等の調査への協力を要請	参加票に協力してもらえる事を署名してもらう 大会開始前に参加者へ注意事項を伝える
イベント前のミーティングや懇親会等における「三つの密」の回避	ミーティングはLINEや電話などで行っている
イベント後の打上げについては、参加者に飲食店等の事前予約を推奨	大会後の打上げは中止としている

○イベント中

チェック内容	具体的な対応
マスク着用、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒	会場内では口と鼻を完全に覆うようにマスクの着用をしてもらう いつでも手指消毒できるように受付等に消毒液などを用意
会場内の混雑を防止するため、入場制限する場合があることへの理解	定員60人以上の会場にて参加人数は半数未満までと限定する 開場時の混雑を避けるため、大会開始の1時間半前から開場する 受付の待機列が出来る場合は、間隔を空けて整列させるようスタッフが誘導する

参加者、スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保 (障害のある方等の誘導・介助を行う場合を除く)	参加者とスタッフが対面する際はできるだけ距離を置くよう注意事項を伝える
イベント中の大きな声での会話禁止	大会開始前に参加者へ注意事項を伝える 参加者へのアナウンスはマイクを使う
原則として、ごみは持ち帰る	会場内にはゴミ箱がない事、ゴミは施設内に捨てず各自持ち帰る事を参加者へ伝える
その他、感染防止のために主催者が決めた措置や主催者指示の遵守	参加票に遵守してもらえる事を署名してもらう

(3) 施設・会場(施設管理者と協力・役割分担の上、実施)

○リスク評価(接触感染・飛沫感染)

チェック内容	具体的な対応
他者と共有する物品やドアノブなど手が触れる場所と頻度を特定	参加者が触れる可能性の高い場所を特定するリスク評価表を作成する
高頻度接触部位 (テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、キーボード、タブレット、 タッチパネル、レジ、蛇口、手すり・つり革、エレベーターのボタンなど)には特に注意	高頻度接触部位: 対戦卓、ドア、デッキ 対戦前のデッキカットはデッキ所持者自身が対戦者の指示に従って行ってもらう
換気の状態を考慮しつつ、人と人との距離がどの程度維持できるか、施設内で大声などを出さず場 がどこにあるかなどを評価	対戦卓は1席以上空けて座ってもらう 大会中に大声出すことがないように大会開始前に参加者に伝える

○本会場

チェック内容	具体的な対応
会場の換気の徹底(窓開け、機械換気、法令等を遵守した空調設備の設置などなど)	施設内では常に外気を取り入れた機械換気が行われている 出入口近くに受付を配置し、スタッフがドア開けっ放しにしないように注意する
可能な限り換気状況のモニタリング(二酸化炭素濃度計測装置の設置等)	施設内では常に外気を取り入れた機械換気が行われている
不特定多数が接触する場所は、定期的に清拭消毒を実施	対戦卓は定期的に消毒できるよう、ローテーションしながら参加者を誘導する ※例 A,Bは対戦、Cは消毒中

○共用物品・設備の消毒等

チェック内容	具体的な対応
他人と共用する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限にする	参加者へは対戦が終わる度、手指消毒もしくはゴム手袋の交換してもらう
複数の人の手が触れる場所・物品を適宜消毒 特に、手や口が触れるものは、適切に洗浄消毒するなど特段の対応を実施	対戦卓は定期的に消毒できるよう、ローテーションしながら参加者を誘導する ドアノブも定期的に消毒

○トイレ

チェック内容	具体的な対応
便器内は、通常の清掃	会場の清掃は施設管理者に一任
不特定多数が接触する場所は、清拭消毒を実施	トイレなどから再入場した際は手指消毒をしてもらう
トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示	大会開始前に参加者へ注意事項を伝える

ハンドドライヤー禁止、ペーパータオル設置などの衛生対策をとる	参加者へハンカチ等の持参してもらうようお願いする
--------------------------------	--------------------------

○ロビー・休憩スペース

チェック内容	具体的な対応
一度に休憩する人数を減らす	休憩用に参加者個人ごとに待機席を用意する 各待機席の間隔は1m程度確保する
食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、自粛を要請	会場内では水分補給を除き、食事は禁止とする 水分補給は待機席のみとし、その際マスクを外す場合は会話を禁止とする
休憩スペースは、常時換気を実施	施設内では常に外気を取り入れた機械換気が行われている 会場外のロビーでは長時間の滞在は控えてもらうよう参加者へ伝える
スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いを実施	スタッフにも待機席を用意する トイレなどから再入場した際は手指消毒をしてもらう

○ゴミの廃棄

チェック内容	具体的な対応
鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛る	会場内にはゴミ箱がない事、鼻水・唾液などが付いたごみゴミは施設内に捨てず各自持ち帰る事を全員にえる
ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用	スタッフが回収する際はマスクとゴム手袋を着用し、終わった際は全て破棄する
マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手洗い	マスクや手袋を脱いだ後は手指消毒をする

○清掃・消毒

チェック内容	具体的な対応
市販の界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて清掃	使用する洗浄剤はNITEにて公開されているものを使用する
通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境表面を清拭消毒(開催前後)	会場の清掃は施設管理者に一任 開催前後に不特定多数が触れる箇所を消毒液と拭き取りシートにて清掃する
イベント開催中も、必要に応じて、手すり等の共用部を消毒	定期的に対戦卓とドアノブの消毒を行う
手が触れることがない床や壁は、通常の清掃	会場の清掃は施設管理者に一任

(4) 運営

○開催・運営に当たっての留意点

チェック内容	具体的な対応
イベント時間は、可能な限り短縮し、感染リスクを圧縮	前回より1時間短縮する
主催者は、参加者等に対し原則、マスク着用を依頼すること ただし、同時に熱中症等対策を講じる場合は、着用の必要性を確認し、参加者等に注意喚起すること	参加者には当日不織布マスクを着用してもらうよう準備してもらう
マスクを持参していない参加者に対しては主催者がマスクを配布すること	当日こちらでもマスクを用意する
至近距離での対面接触の機会を縮減	今まで二部構成だった大会を一部のみに縮減

人と人との間隔を確保(人と人が触れ合わない程度の距離)	対戦卓は飛散防止パネルを設け、対面距離も1mほど確保する 対戦卓・待機席の間隔は1席以上確保する
会場設営は可能な限り簡素化し、設営に要する人員・時間の縮減	会場設営の作業手順を決め、短時間で効率的に作業する
定点カメラやデジタル技術による混雑状況のモニタリング・表示	60人以上収容可能な会場に対しその半数未満の人員で使用する為、混雑する状況にはならない
障害のある方、高齢者、基礎疾患のある方など、感染時に重篤化する可能性が高い方に特に配慮 (参加させない、入口や会場を分けるなどの工夫)	人の流れが少ないエリアに専用席を設ける
大声を出す者がいた場合、個別に注意、対応等ができるよう、人員を配置するなど体制を整備	会場内に常時周囲の観察ができる人員を配置する
演者・選手等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じること	本イベントにて演者・選手に該当する人はいない為、対応必要無し
演者が発声する場合には、舞台から観客の間隔を2m確保すること	本イベントにて演者に該当する人はいない為、対応必要無し
合唱等においては、講じる防止策(マスク着用等)に応じた適切な演者間距離を確保 (例:マスク着用時は前後1m左右50cm、未着用時は前後2m左右1m等)	本イベントにて合唱を行わない為、対応必要無し
寒冷な場面における換気等については、適切な室内環境を維持しつつ、十分な換気を行うこと (温度は18℃、湿度は40%以上が目安)	施設内では常に外気を取り入れた機械換気が行われている

○当日の受付時の対応

チェック内容	具体的な対応
入口、受付窓口に手指消毒剤の設置	入口に手指消毒液を設置し、入場時に消毒してもらう 対戦卓に手指消毒液を設置し、随時消毒してもらう
参加者の検温(非接触型)や赤外線カメラで体温を確認	受付時、非接触型の体温計にて検温する
発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある方は入場させない	受付時のチェックにて体調に問題ないか参加票を提出してもらう
有症状者の入場を断った場合の入場料等の払い戻しの措置等を定めておくこと	支払い前に検温・参加票の確認を行う為、払い戻しは発生しない
人と人が対面する場所は、アクリル板や透明ビニールカーテンなどで遮蔽	受付・対戦卓に飛散防止パネルを設置
参加者が距離を置いて並べるよう目印等(足型)を設置	受付待機に人が並ぶ状況になった際はスタッフが距離を置くよう誘導する
受付を行うスタッフはマスクを着用	スタッフ・参加者はマスクを着用する
インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等をできるだけ回避	参加申込はHPにて行い、提出する参加票は来場時まで記入してもらう
参加者に対して、「イベント参加者への依頼事項」の呼びかけ	当日の注意事項をメールにて知らせる

○イベントスタッフ等

チェック内容	具体的な対応
スタッフは、イベントの運営に必要な最小限の人数とする	スタッフは最大3人までにて運営する
演者・イベントスタッフ及びその家族の出勤前の検温・体調確認を徹底し、発熱がある場合等は自宅待機とする	スタッフは自宅を出る前に検温を行い、発熱がある場合は自宅待機とする
マスクを着用し、手洗い、手指消毒を徹底	マスク着用を必須とし、定期的に消毒を行う
スタッフのユニフォーム等については、こまめに洗濯を行い、清潔に保つ	清潔なスタッフTシャツを着用する
イベント中に体調変化をきたしたスタッフがいないか注意	体調に少しでも異変を感じた際は直ぐに報告する
休憩時間は分散化し、対面での食事、会話を避ける	会場内では水分補給を除き、食事は禁止とする その際にマスクを外す場合は会話を禁止とする
休憩場所は、窓を開けるなど換気を徹底	施設内では常に外気を取り入れた機械換気を行われている
スタッフに対する感染防止に係る教育の実施(アルバイトを含む)	事前にマニュアルを配り、対策内容の教育を実施する

○参加者(大声歓声等ない場合)

チェック内容	具体的な対応
定められた人数上限、収容率を遵守し、間隔は密が発生しない程度(最低限人と人が接触しない程度の間隔)とすること	60人以上収容可能な会場にて入場できるのは半数未満までとする 対戦卓・待機席の間隔は1席以上確保する 受付時、大会中などで人が集まる状態にならないようスタッフが誘導する

○物販、売店

チェック内容	具体的な対応
物販、売店、飲食は最低限とし、次に留意する ・人員整理などによる待ち行列の間隔確保(足型設置)、抑制への配慮 ・売店、飲食スペースの厳重な衛生的配慮(できない場合は物販等の実施を認めない)	本イベントにて物販・売店は無い為、対応必要無し

○飲食

チェック内容	具体的な対応
飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限	会場内では食事禁止とする 待機席であれば水分補給のみ可能とする
特に、収容率50%を超える場合、飲食可能エリア以外での飲食は原則禁止	60人以上収容可能な会場に対しその半数未満の人員で使用する
休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底	会場内では食事禁止とする
過度な飲酒の自粛	イベント前に飲酒していないか確認する 会場内での飲酒は禁止とする

○マスメディア(取材)

チェック内容	具体的な対応
取材時の人と人との間隔確保 取材者の把握及び注意事項等の徹底 マスク着用、手洗い、手指消毒の徹底	本イベントにてマスメディアはいない為、対応必要無し

○参加者等の動線、人員整理等

チェック内容	具体的な対応
会場内、動線上、人員を滞留させない	参加者は基本、対戦卓もしくは待合席にて待機してもらう
誘導員による適切な誘導	対戦卓の状況は消毒マップにて管理し、マイクにて誘導を行う
複数かつ余裕のある人員動線の確保	60人以上収容可能な会場に対しその半数未満の人員で使用する
多様な交通手段の提示や時間差入退場などの工夫	時間差入場が出来るよう大会開始1時間半前から開場を行う 時間差退場するよう参加者を誘導する

※動線：日常生活や仕事で、建物内を人が移動する経路を線で表したもの

○会場までの輸送(シャトルバス)

チェック内容	具体的な対応
鉄道駅・駐車場等と会場間にシャトルバスを運行する場合は、バス利用者が間隔を空けて着席できるようにする バスは、常時窓を開けるなど換気を徹底 利用者に対して、会話を避けるよう呼びかけ 乗車場所の行列・待機の立ち位置を明示するなど、間隔の確保 乗車待ち時の熱中症対策などを実施(乗車場所、待合場所の工夫)	本イベントにて輸送は行わない為、対応必要無し

(5) 事前会議・打合せ

チェック内容	具体的な対応
イベント開催に当たっての会議・打合せは、必要最低限の人数で実施	運営に必要な最低人数3人にて実施する
会議・打合せ時間は、可能な限り短縮 (事前の資料配布など、方法の工夫)	打合せは事前に資料配布をして、LINEや電話などで行っている
会議・打合せは、可能な限り広い空間で行い、換気を徹底	打合せはLINEや電話などで行っている
オンラインの活用(リモート会議等)	打合せはLINEや電話などで行っている